



学校の教育目標

主体性

●自ら求める ●鍛えやり抜く ●思いやる

<伝統・あいさつ・合唱・清掃>と<学習・ボランティア>の5つの柱をつなぐ指導

自ら求める

<研究主題>

学ぶ喜びを実感し、仲間と学びを創る生徒の育成
(岐阜教育事務所指定研修校1/3年目)

- 生徒が自分たちの視点やペースで学習を進めることができる柔軟な指導方法展開や教材の工夫
 - 生徒の学習活動や学習課題に合わせた多様な学習の機会の工夫
 - 課題や問題を解決するために、柔軟にまわりの人と関わる学びの機会の位置付け
 - 評価の視点を焦点化し、自己の変容や学びを実感させるための支援
 - 学力の実態分析からの授業改善
- 自己存在感「居場所」が感じられる集団の育成
- 生徒指導・教育相談の充実による【主体性】【自己肯定感・自己有用感】【共生】の育成
 - 日々の授業や常時活動、行事等において、生徒自ら価値ある活動を見つけ取り組む活動や、全ての生徒が主体的に活躍できる場面を実現する「場づくり」の充実

鍛えやり抜く

仲間と共に協働することの良さを実感し、願いや目標を達成しようとするたくましさとしなやかさを身に付けた生徒の育成

- 目指す自分や目標に向け努力する姿やその想いを価値付け、真面目に頑張ることの大切さを意識付けける指導(生活ノートや学年・学級通信等を通して)
- 困難等を乗り越えながら、生徒が共に歩む中で高まってきた事実を共感的に捉えとともに、一人一人の行動のすばらしさを謙虚に受け止め、一人一人がいないと困る実感をもたせる指導の連続
- 過去の教職員・生徒の努力を敬い、本校のよき伝統は継承・発展させながら、伝統の意識化を図る。(あいさつ・合唱・清掃における生徒の納得感と必要感を育成・教師も意識して指導しきる)
- 所属集団の生活向上のため汗をかける建設的な考えや意見をもった生徒の育成

思いやる

人それぞれの違いを自然に受け入れ、支え合い、互いに認め合い、自他の人権や尊厳を大切する生徒の育成

- いじめ防止 那加中人権宣言を継承するとともに互いの違いを受け入れ、認め合う営みを年間を通じて位置付け、互いの人権を尊重し合う生徒の心を育てる
- ・ぎふ 生命の安全教育の取組(那加中ハートフルタイム(NHT)の取組)
- ・SOSの出し方に関する教育の充実
- 生徒会や委員会の取り組みを直に学級に反映させ、自分たちの学校を自分たちの力でより良くしようとする校風づくり
- 明確な意思をもったリーダー、共に問題を解決していこうと協調できるフォロワーの育成の強化(誰もがリーダー・フォロワー)
- 生徒同士の絆づくり
- お互いの気持ちを理解し、良さを認め、共感し合うことで力を合わせ頑張れる、安心できる共生社会づくり(アセス、SST、コグトレの実施)

令和7年度の合言葉<<生徒の居場所と絆を大切にしたい魅力ある学校づくり>>

※「大切な自分・大切な仲間」の意味理解と具体的な実践を通して「温かいつながり」をつくる。

<特活指導部会>

互いの願いや目標を分かり合い、活動の意味や意義を理解し、多様性を認め合い、互いに尊重し合い協働することを通して、自らの力で生活を改善していくとともに、望ましい人間関係を築く生徒の育成

- ・自治活動の推進「建設的な意見をもった生徒づくり」
- ・学級を拠点とした委員会活動の強化
- ・生徒一人一人に応じた生き方・在り方指導、自尊感情を高めるキャリア教育等の推進
- ・「すべての子供を対象とする特別支援教育」に関する理解と支援
- ・自らの適性や興味を探り、自主性や実践力を育成する進路指導

<生活指導部会>

自他の安全・安心を大切にできる望ましい習慣を身に付け、学校生活のルールの意味や意義を理解し守り、自己を見つめ、適切な判断で行動できる生徒の育成

- ・生徒同士の相互評価機能が働く学級をつくる。(強固な学級組織力の自治構築)
- ・安全で美しい学習環境作りに向けた保健安全指導
- ・やりきった充実感につなげる清掃指導(きれいな学校の推進:本物の清掃を求め続ける。丁寧な物の取扱い)
- ・教育目的を達成するための必要かつ合理的な校則の見直し※社会規範の遵守につながる適切な指導
- ・マナー/モラルに対する本質を捉えた生活指導

<学習指導部会>

学ぶ意味や意義を理解し、分かる自分をめざし、自他の考え等を大切に、主体的に仲間と関わり合いながら学び、喜びを味わい、確かな学力を身に付けようとする子供の育成

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るべく授業改善を推進
- ・自己を見つめ、仲間に対して、敬意を払う態度を育成し、多面的・多角的な見方を通して自他の大切さが実感でき、実践的な行動力が身に付く道徳人権指導
- ・一人一台タブレットの効果的活用及びデジタルシチズンシップ教育の推進

家庭・地域

地域行事への参加や学校開放を行うと同時に、地域や家庭の教育力を活用し、地域の方と触れ合う機会をもたせ、「ふるさと“那加中校区”のよさを知り、誇りに思う生徒」を育てる。

- 地域活動に積極的に参加し地域の方との触れ合う活動を通して、自分にできることはないかを考えることで、地域の一員としての自覚をもつ。
- 子供の頑張りや成長を積極的に伝え、問題行動だけでなく普段から家庭との連絡を密にし、信頼関係を構築する。保護者の気持ちを受け止めながら粘り強く頑張る指導を家庭に勧める。
- コミュニティスクールを活用し、明るいあいさつと自らボランティアができる生徒を育てる。